

農林水産大臣賞の受賞者

【経営改善部門】

石川県羽咋市 有限会社フロンティアはら

代表：原 雅幸（はら まさゆき）氏

＜受賞のポイント＞

無人トラクター、乾田直播の導入やデータによる施肥管理などによる省人化及び作業体制の見直しにより、1人当たりの年間労働時間を大幅に減少させている。

生産性向上のノウハウを生かし、経営を悪化させることなく、令和6年能登半島地震の影響により離農した農業者の農地を積極的に引き受けている。

作業を分業化し、従業員の適正に応じた作業に重点的に従事させることで、従業員のモチベーションの向上や定着率の向上につなげている。

岐阜県高山市 株式会社アルプス農場

代表：大西 洋介（おおにし ようすけ）氏

＜受賞のポイント＞

多品目栽培による作業量の平準化と菌床しいたけを導入することで、豪雪地帯であっても従業員の周年雇用を実現している。

人事評価項目を従業員に明示し、随時見直す従業員の能力に応じた給与体系の導入や、家庭の事情に応じた柔軟な働き方を取り入れるなど、従業員の就業条件の持続的な改善に取り組んでいる。

女性役員が主導して、資格習得の支援のほか、女性専用トイレや女性役員による相談体制を整備するなど、女性が働きやすい環境を実現している。

滋賀県彦根市 有限会社フクハラファーム

代表：福原 悠平（ふくはら ゆうへい）氏

＜受賞のポイント＞

農地の集約化・大区画化を進めるとともに、スマート農業技術や乾田直播を導入し、基本的な技術の励行による徹底した合理化を進めることで、大幅に生産コストを削減している。

(1/3)作期を分散し、労働力の平準化を進めるため、水稻に加えて小麦、大豆、キャベツを生産することで、周年雇用を実現している。

鹿児島県大崎町 有限会社大崎農園

代表：山下 義仁（やました よしひと）氏

＜受賞のポイント＞

農作業などに関するデータの収集・検証を徹底的に行い、経営におけるPDCAサイクルを回し、精緻な生産管理体制を確立している。

気象データの活用や定期的な土壌診断に加え、農業機械のトラブルの防止を徹底することで、契約販売先への安定供給を実現している。

規律ある投資計画を策定することで、固定負債を増やすことなく、機械施設の更新・拡充を行っている。

【技術革新部門】

鹿児島県枕崎市 株式会社楠花園

代表：楠 政明（くすき まさあき）氏

＜受賞のポイント＞

品種選定から出荷に至る一連のプロセスを通して様々な技術を組み合わせることで、需要期に応じて生産量を最大化できる工程を確立している。

結束作業や散布作業を自動化する機械を地元企業と共同で開発し、その機械が全国で活用されるなど、各地のキク産地における生産性の向上に貢献している。

【付加価値創造部門】

鹿児島県日置市 株式会社春日園川路製茶

代表：川路 到（かわじ いたる）氏

＜受賞のポイント＞

有機農産物の評価がまだ定まっていなかった時代から、営業活動を通して百貨店での対面販売など消費者への直接販売を展開することで、付加価値の創出に取り組んでいる。

健康に配慮する顧客のニーズに応えるため、茶のほか、桑の葉や大麦若葉を生産することで、気候や市場の不安定さに左右されない経営を行っている。